

**平成30年度（上期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：市民自治部 環境政策室 みどり自然課

1. 基本情報

402

施設名	伊丹市昆虫館						
施設の設置目的	昆虫その他身近な自然とのふれあいを通じた市民の自然環境学習を推進することにより、生物の多様性及び自然との共生への理解を深めるとともに、自然に関する学術文化の振興に寄与する。						
伊丹市総合計画 (第5次)における関連施策	政策目標：環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち 施策目標：水とみどりの豊かな自然環境の創出と再生 主要施策：自然環境との共生						
指定管理者の名称	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館(いたみホール)内						
選定方法(公募・非公募) 及び指定期間	非公募	平成28年4月1日～平成31年3月31日					
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	(単位：人)					
	指標の意味	年間の施設入館者					
	今年度の目標値	144,000	上期の実績値		100,797		

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30(上期)	H30(通期)
	入館者数(人)	146,448	134,603	146,012	110,978	80,355	100,797	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

	区分	平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	平成30年度(2018) 計画	平成30年度(2018) 実績(上期)	
収入	使用料収入	0	0	0	0	
	事業収入	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	指定管理委託料	129,988	119,252	127,452	61,273	
	①合計	129,988	119,252	127,452	61,273	
支出	維持管理	光熱水費 清掃等委託料 土地建物賃料 修繕料	9,471 11,006 0 5,459	7,893 11,159 0 4,765	8,427 13,335 0 4,003	3,749 3,374 0 867
	運営	人件費 事業等経費 その他 指定管理納付金	70,810 24,769 6,176 0	62,016 24,944 5,997 0	68,942 25,677 7,068 0	32,181 12,572 2,867 0
		②合計	127,691	116,774	127,452	55,610
		純収支(①-②)	2,297	2,478	0	5,663

		H25	H26	H27	H28	H29	H30(上期)
施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>	市の収入 (内、使用料収入)	27,371 26,872	26,149 25,657	28,768 28,344	22,459 22,131	15,799 15,668	20,546 20,489
	市の支出 (内、指定管理委託料)	126,467	128,573	134,712	129,988	119,252	61,273
	実質経費(歳出-歳入)	99,096	102,424	105,944	107,529	103,453	40,727

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的な内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	B	台風21号の影響による昆陽池公園内の倒木について、市関係部局と連携した迅速な対応を行い、早期復旧に努めた。来館者の安全確保の為、市と協議して修繕を適切に実施している。	B	館内は日々の清掃により清潔に保たれている。修繕業務については、適宜、必要な箇所の把握に努めている。今年度上期に受けた台風の被害に対しても、速やかに対応した。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		A	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
運営等に関する項目	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	環境省はじめ関係機関と連携し、専門分野の見識を深める調査や研修等へ積極的に職員が参加している。	B	新たに事務職員が配置され、必要な職員数は確保されている。また各職員の技能向上のため、積極的に職員研修を行っている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		A	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持つた職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急時の連絡体制は整っており、避難訓練等も定期的に実施している。	B	緊急時の連絡体制は整っている。避難訓練は適宜実施されている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	企画展の際にはアンケートを実施することで、施設へのニーズの把握を行い、今後の施設運営・企画展に活かしている。苦情やトラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	苦情やトラブルへの対応は適切である。アンケートの実施等、利用者の意見を施設運営に活かすための取り組みが行われている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組を確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	類似施設との合同開催による企画展や、観察会等の普及啓発に積極的に取り組んでいる。	B	市内外の施設等と協力する等、積極的な事業展開を行っている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報等を適切に管理している。Twitter等SNSやウェブサイトを活用し、積極的な情報発信を実施し、注目度も高い。	B	個人情報は適切に管理されている。ホームページは適宜更新されている。また、SNS等を利用した情報提供にも積極的である。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
	収支の状況	ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
		収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	収支計画に基づき、適正な運営及び経理処理を行っている。	B	経理処理は問題なく行われている。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味

「A」=協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」=協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」=協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「-」=当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	当施設は昨年度9月からのチョウ温室大規模改修工事を終え、今年度4月より7か月ぶりに再開館した。再開館に合わせて年度初めには多数のイベントが企画され、入館者数は昨年度の同時期と比べて増加している。また、利用者の満足度も高水準を維持しており、指定管理者による適切な運営の成果が見られる。
総合評価 B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」=非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」=取組状況の水準が普通である。

「A」=良好である又は成果があった。

「C」=改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成30年4月1日～平成30年7月2日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	1 伊丹市昆虫館の満足度について 「とても満足した」「まあ満足した」…80.8%	今後も利用者の満足度を維持できるような企画、管理運営に努めたい。
回答者数 73	2 その他のご意見 ●「もっと虫にさわってみたかった」 ●「館内で子どもの用具、おみやげなどが買えるのは助かる」	●毎日の「放チョウ体験」のほか、企画展・特別展に関連させたり、「昆蟲ふれあい体験」など、ふれあう機会を増やします。 ●これからも、展示にあわせたグッズを導入するほか、当施設オリジナルグッズの企画開発をすすめ、利用者の期待に応えられるよう努力します。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置